

小規模校の特長を活かした授業改革と教育課程の工夫 ～学びの「意欲化・主体化・個性化」～

豊富町 複式教育研究部会

1 研究主題

「小規模校の特長を活かした個別最適な学びと協働的な学びの研究」～「兜沼メソッドの実践を通して」～

【「兜沼メソッド」とは】

- ①資質・能力伸長の基盤は日常の「主体性(自己決定)」「興味関心(向学心)」「体(経)験」「チャレンジ精神」であると押さえる
- ②教育課程に児童生徒一人一人の得意・特異能力を伸ばす機会を位置づける。
- ③教科授業で児童生徒一人一人の学び方に合わせた展開を工夫する。
- ④AI教材を活用し、個別最適化した予習・復習・反復学習を継続して行う
- ⑤各教科で「思考コードBレベル」の思考力を育成する。(各教科の見方・考え方の習得)
- ⑥道徳・総合・特別活動で「議論」を多く取り入れ、「思考コードCレベル」の思考力を育成する。

2 多様性に富む本校児童生徒

2019年度から学校選択制の一つである「小規模特認校」となった本校には、町内外から様々な事情や目的で児童生徒が転入してくる。児童生徒数は18年5名だったが23年には23名となった。学力は、少人数であっても転入前の学校で特別支援学級だった子から能力の高い子が在籍しておりとても幅広い。トランスジェンダーの子・前の学校で不登校気味だった子・発達障害疑いの子・札幌圏の学校を目標としている子等々実



に多様性に富んでいる。このような児童生徒の実態から「個別最適な学び」の実現は本校にとって避けて通れない課題である。

3 授業改革と教育課程の工夫

本校の課題解決のため、「研究主題(3カ年計画)」を立て、複式少人数小中併置の小規模校の特長を活かして、以下の実践に取り組んでいる。

〔授業改革として〕

- ①「単元内自由進度学習」
目的：主体的な学び・個別最適な学び
- ②「思考マッピング学習」
目的：協働的な学び
- ③「思考コードを活用した学習」
目的：主体的な学び・個別最適な学び・思考力の育成

〔教育課程の工夫〕

- ④「個別探究(選択教科)学習」
(レシカタイム)
目的：学びの意欲化・主体的な学び
- ⑤「プロジェクト型学習」
目的：主体的な学び・学びの総合化



4 今後の方向性

現在は上記の実践の成果と課題を明確にし、R6教育課程へ向け編成中である。これまでの実践を踏まえ、検証し新たな形も含め、本校にとってより効果的な教育の在り方を確立していきたい。

